

令和6年度第2回本会議資料1-2  
令和6年10月25日  
相談支援部会

# 課題抽出のための事例検討会 まとめ

目黒区相談支援部会  
(2024年8月8日実施)

# 地域課題について

- 移動支援、通学等介助を支援するヘルパーが見つからないため、サービスを利用できない
- そのため、ある事例（別紙参照）を元に検討会を実施し、課題の抽出およびその要因・理想の解決策・現実の解決策を話し合った

# 課題の要因/背景

1.マンパワー不足

2.ニーズの集中、  
頻度の課題

3.制度の問題

4.代替社会資源  
が少ない

5.事例本人の  
課題

# 要因1 マンパワー不足

ヘルパー事業所の人材の少なさがあり質が担保できない。人材不足の根源を考える必要がある。

## 理想の解決策

- 移動支援に関するヘルパーを事業所単位でなく個人単位で登録（単発バイトで働きたいを支援）
- ヘルパーの働く条件改善

## 現実の解決策

- 目黒区主催のガイドヘルパー研修の定期開催
- ヘルパー事業所連絡会（障害福祉）をつくり、事業所の課題抽出をする
- 学生に資格取得をPRし人材確保をする

## 要因2 ニーズの集中、頻度の課題

朝・夕方の時間帯の希望が多い（通所施設の開始終了時間に集中している）  
利用頻度が少ない、不定期の場合もみつからない

### 理想の解決策

- 夕方加算をつけてヘルパー増員をはかる
- ヘルパー空き情報共有ができるようにする

### 現実の解決策

- 行き先が同じ場合に複数人送迎を認めてもらう（※他区で実施）
- 通所施設利用時間をシフト制にする。または個人で利用時間を調整する（短時間利用・早退など）

## 要因3 制度に関する課題

移動支援の報酬単価が低く、身体介助なし、短時間サービスが特に低い  
相談支援専門員が代替した場合の報酬がない

### 理想の解決策

- 相談支援専門員の送迎に加算をつける
- 通所事業所の送迎を増やすために送迎加算をつける

### 現実の解決策

- 移動支援の報酬単価アップ
- 身体介護の有無に関わらず報酬を一定にする
- 短時間および不定期利用送迎加算（※他区で実施）

# 要因 4 代替社会資源が少ない

移動支援に代わる支援がない

送迎の有無が施設側（短期入所、B型など）によって異なる

## 理想の解決策

- ボランティア募集アプリを作る、大学生・高齢者の活用
- 障害者用の区営巡回車、ヒーローバス活用
- 移動支援マッチングアプリ
- ドローン、AIロボットで送迎
- バス、タクシー会社との連携
- 成人障害者のファミリーサポートを実施

## 現実の解決策

- 介護タクシー利用
- 移動支援の代わりに日中一時支援を利用する（区立の通所施設での実施、当通所利用後の夕方の時間）

# 要因 5 当事例本人の課題

交通機関利用時のトラブル、練習不足

## 理想の解決策

## 現実の解決策

- 短期入所へ行く時間をずらす
- （B型を早く帰る）
- 短期入所の利用回数を増やす、定期にする
- 訪問リハで練習する（スマホ、地図アプリなど）